

中核市の 保健活動から 考える より効果的な地域活動への展開

1996年に施行され、現在も増加傾向にある中核市。本特集では、中核市への移行や、それに伴う保健所設置に向けた展開、また、そのスケールメリットを生かした地域に根差した保健活動を紹介する。そこから中核市へ移行する際のポイントや中核市での保健活動のあり方とともに、他自治体にも通じる地域活動を効果的に展開するための視点を探る。

- 中核市保健所の現状と課題を踏まえ、そのメリットを生かした活動へ
- 中核市の保健師活動の現状と統括保健師への期待
- 新たに中核市に移行した甲府市の保健師として感じること
中核市への移行や甲府市保健所開設における経験と今後の展望
- 中核市を最も多く抱える大阪府の保健師として感じること
都道府県保健師から見た中核市保健所への移行プロセスとポイント
- [富山市の取り組み] 地域共生社会を推進していく保健師の活動と役割
- [豊田市の取り組み]
地域特性に応じた保健活動を進めるための体制と組織横断的な連携強化